

# とちぎの子どもが薦める本のリストクイズ【高校生の部】

## Q1 『ハッピーバースデー』より

この本の主人公「あすか」は、ある時期を、母方の祖父母が住む宇都宮で過ごすことになる。祖父母の家の裏の畑では、野菜や花や果物の木が植えられていたが、「あすかの誕生の木」といって、オレンジ色の実がなっている木を見せてくれる。「あすか」の生まれた年に植えたというこの木は何か。

- ① キンカン
- ② ミカン
- ③ オレンジ
- ④ アンズ

## Q2 『こころ』より

夏目漱石の作品「こころ」は、上「先生と私」、中「両親と私」、下「先生と遺書」の三部構成である。高校生の教科書には、下「先生と遺書」が掲載されている。「先生」の奥さんの名前は何か。

- ① 鏡子(きょうこ)
- ② 藤尾(ふじお)
- ③ 静(しず)
- ④ 三千代(みちよ)。

## Q3 『そして誰もいなくなった』より

アガサ・クリスティ作の「そして誰もいなくなった」の設定は、イギリスが舞台である。この作品は、インディアン島に、年齢も職業も異なる男女10人が招待されたところから始まる。この招待状の差出人の名前はだれか。

- ① U・N・オーエン
- ② エルキュール・ポアロ
- ③ ミス・マープル
- ④ フレデリック・アルヴァ・ミラー

## Q4 『フェルマーの大定理が解けた！』より

次は、「フェルマーの大定理」とも「フェルマーの最終定理」とも「フェルマー予想」とも呼ばれる数 学の中でも有名な課題である。

nが2より大きい自然数であれば、  
 $x^n + y^n = z^n$   
という方程式は自然数階x、y、zを持たない。

17世紀のフェルマーが記したこの課題は、多くの人が証明に挑戦したが、長年証明することができなかった。1995年に、「すべての場合」に、このフェルマーの大定理が成り立つことを証明した人は誰か。

- ① オイラー(スイス)
- ② ワイルズ(イギリス)
- ③ クンマー(ドイツ)
- ④ 関 孝和(日本)

解答欄

Q1

Q2

Q3

Q4



Q5 『思考の整理学』より

「思考の整理学」の中に「セレンディピティ」と題された文章がある。思いもかけない偶然から、まったく別の新しい発見が導かれる幸運を招き寄せる力を「セレンディピティ」というが、この「セレンディピティ」ということばの由来となった話は何か。

- ① セイロンの三王子
- ② イソップ物語
- ③ 幸せの王子
- ④ シンデレラ

Q6 『佐賀のがばいばあちゃん』より

この本で島田洋七さんは、自分を育ててくれた1900年(明治33年)生まれの母方のおばあちゃんのエピソードを紹介している。本の題名でもある「がばいばあちゃん」の「がばい」とは佐賀の方言だが、どういう意味か。

- ① すごい
- ② 恐ろしい
- ③ えらい
- ④ 大きい

Q7 『真理先生』より

「真理先生」は、白樺派に属する武者小路実篤の作品である。同じ作者の作品は、次のどれか。

- ① 小僧の神様
- ② 友情
- ③ 或る女
- ④ 多情仏心

Q8 『不毛地帯』より

山崎豊子は、小説「不毛地帯」を書いている。主人公である元大本営参謀であった「壺岐正」が、11年間抑留されていたのは、どこか。

- ① 満州
- ② ルソン島
- ③ 硫黄島
- ④ シベリア

Q9 『16歳の教科書』より

本書は、「なぜ学び、なにを学ぶのか」というテーマで、7名の講師陣によって、語っている。16歳の今だからこそ、自分が勉強する理由を真剣に考えてほしいというメッセージである。16歳という年齢は、法律ではどのように定められているか。

- ① 男子の婚姻が認められる。
- ② 選挙権が与えられる。
- ③ 労働が認められる。
- ④ 普通自動車の免許取得が認められる。

Q10 『ビルマの豎琴』より

「おーい、水島。おーい、水島。一緒に日本にかえろ。」と叫ぶ青い鸚鵡を肩に留ませたビルマ僧が、日本人兵士に対し、最後に豎琴で弾いた曲は何ですか。

- ① はにゆうの宿
- ② 庭の千草
- ③ あおげばとうとし
- ④ 蛍の光

解答欄



Q5

Q6

Q7

Q8

Q9

Q10